坂ろうだより

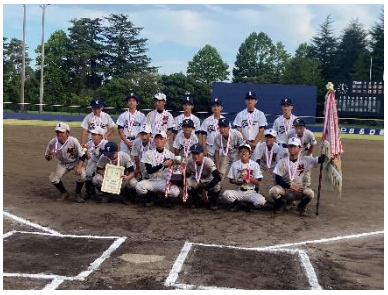
第５号
埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園
令和７年９月１日

関東聾学校体育連盟大会　坂戸ろう学園　大活躍！

第７４回関東聾学校バレーボール・野球・卓球大会が夏季休業中に開催され、各部活動が優秀な成績を収めましたので紹介いたします。

野球部　優勝

野球大会は、８／５（火）～７（木）にS&D昭島スタジアム（東京都昭島市）で行われました。本校は立川学園（東京都）と連合チームで参加し、見事優勝しました。



（２回戦）坂戸・立川 14－２ 筑波大附属校
（決勝戦）坂戸・立川 ６－２ 中央ろう学校

	１	２	３	４	５	６	７	８	９	計
坂戸・立川	１	５	０	０	０	０	０	０	０	６
中央ろう	１	０	０	０	０	０	０	０	１	２

卓球部　３位

卓球大会は、８／２０（水）～２２（金）に長野県安曇野市総合体育館で行われました。個人戦では、男女共惜しい結果となりましたが、女子団体戦では第３位の成績を残しました。１１月に行われる全国大会（愛知県）出場を果たしました。

女子団体戦決勝トーナメント　１回戦　坂戸校　対　立川校　３－０　○
　　準決勝　坂戸校　対　大宮校　０－３　●

バレーボール部

バレーボール大会は、７／２９（火）～３０（水）に神奈川県横浜市の横浜武道館で行われました。惜しくも予選リーグで敗退となってしまいましたが、選手たちは最後まであきらずに全力プレーでがんばりました。

予選リーグ　第１試合　対千葉校　１－２　●
　　第３試合　対筑波校　０－２　●

サインエールで応援練習！（中学部、高等部）　　７月１１日（金）

１１月１５日（土）に開催される東京 2025 デフリンピックに向けてサインエールでの応援練習をしました。サインエールは声や拍手等、音では伝わりにくい聴覚障害のある選手に対して、目で見て伝える応援方法です。

今回はサインエール事務局のみなさんにご来校いただき、応援方法を教えていただきました。生徒たちはわかりやすい手話表現に感動していました。

本校から教員と卒業生あわせて５名が出場します。今回学んだサインエールで応援します。

第一住宅坂戸団地　夏祭り太鼓出演（寄宿舎）　７月１９日（土）

第一住宅坂戸団地夏祭りに、寄宿舎太鼓サークル「こばと会」が出演しました。今回は中学部１年生から高等部３年生までの１６名が参加しました。職員も加わり「秩父屋台ばやし」、「雷神」、「ぶち合わせ太鼓」の３曲を披露しました。生徒たちは皆、堂々と演奏していました。太鼓の演奏だけでなく、曲の紹介等、先輩から後輩へとしっかりバトンが引き継がれていることが実感できました。

発表を終えたあとには「手話の拍手」をたくさんいただきました。また、第一住宅坂戸団地の皆様には熱中症対策に細かなご配慮をいただきました。ありがとうございました。

関東聾学校体育連盟陸上・バレーボール・野球・卓球大会を見届けて

校長　桑原　智子

連日の猛暑で、体力・気力を保つことが大変な残暑となっております。気温 34 度以上では、室内での活動に切り替えざるを得ない状況です。子供達はどのような夏休みの思い出を語ってくれるのでしょうか・・・夏のイメージが大きく変わろうとしています。

さて、今年は、関東聾学校体育連盟会長を担っていますので、４大会全行程を見届けることができました。陸上競技２日間（水戸）、バレーボール２日間（横浜）、野球３日間（昭島）、卓球３日間（安曇野）とハードではありましたが、各校の熱意や状況が把握でき大変参考になりました。その中で本校の選手は、一人一人が大会に真剣に向き合い、ナイスプレーを何度も見せてくれました。野球部は、他校が高等部生でチームを構成する中、中学部生が半数いるチームで、見事優勝をつかむことができました。卓球部女子団体では、苦戦しましたが全国大会への切符を手にしました。保護者の方々、在校生、卒業生、職員と、遠路にもかかわらず大勢の応援にパワーをもらった結果となりました。生徒数減少の中、一人一人が輝いている坂戸ろう学園は素晴らしいと思います。さぁ、２学期が始まります。体調管理に気を付けて、次の目標に向かって進んでいきましょう。